

HOTでスマイル

より快適なHOTライフのための広報誌

第48号

患者さんの症状を解決するよう心がけています



医療法人二之沢会
院長 川田 悦夫 先生

昭和20年、高崎市足門町に森田伝一郎先生が森田医院を開院。その後昭和29年に二之沢病院を設立。現在は森田豊穂理事長の下、内科、皮膚科、整形外科の外来診療と

120床の医療療養病床で入院対応をおこなっています。

内科外来は、高血圧症や脂質異常症、糖尿病などのいわゆる生活習慣病は勿論、一般的な検査で診断がつかない様々な症状の患者さんについては、積極的に専門医へご紹介しながら、患者さんの症状を解決するよう努めています。当院は緊急検査や専門治療など、救急病院並みの機能はありませんが、病気の根本的な治療が困難でも、身体的精神的な苦痛を和らげながら日常生活が送れるように心がけています。また、進行した悪性疾患などの根治が困



二之沢病院様

難な病気の患者さんについては、緩和ケア専門医による緩和ケア外来がはじまりました。

整形外科外来は水曜日の午前中、皮膚科外来は、水曜日、金曜日、第1, 3, 5の土曜日午前中で、木曜日は予約制で美容皮膚科をおこなっていますのでご相談ください。

入院施設に一般病床はなく、医療療養病床のみで、救急病院の様な緊急検査や救命救急対応はできません。継続的に酸素吸入や痰の吸引、点滴治療、褥瘡治療等が必要で、病状が安定していても自宅や施設では心配な状態で、一定以上の医療が継続的に必要な患者さんが入院されます。最近、救急病院の入院期間は短くなり、入院後短期間で退院になる傾向がありますが、医療療養病床の当院では、一定以上の医療が必要なくなるまで入院されるケースがほとんどです。また、患者さんにとって、高度な治療をおこなうことが負担になる場合や希望されない場合、集中治療や救命延命治療までは希望されない場合などにも入院対応しています。容体が良くなって、施設や自宅へ戻り療養される患者さんには、退院後自宅あるいは介護施設で安心して療養いただけるように多職種でサポートし、退院後も引き続き医療や介護サービスを受けられるように対応しています。

新型コロナワクチンの接種もおこなっていますが、当院で予約はできませんので、高崎市の予約センターへ予約をお願いいたします。

いきいき HOT さん



群馬県前橋市
小暮 みのりさん (14)
(HOT歴 14 年)

夢に向かって

私は前橋市の中学校に通う、受験を控えた普通の女の子です。

ただ他の中学3年生と少し違うところは、月に1度、小児医療センターへ受診し夜間は在宅酸素をしているところです。学校生活では運動制限がありますが、卓球部に所属していました。



3 歳頃

お母さんのお腹に居た時、私に心臓の病気が見つかり、生まれてから5歳までに何度も手術をしました。赤ちゃんの頃は入院を繰り返して、幼稚園に入る前ま

では在宅酸素を24時間していました。だからマルホンさんには長い間お世話になっています。

幼稚園、小学校、中学校には携帯用酸素ボンベを持っていき、保健室に置かせてもらっているので安心して生活しています。

幼稚園では、初めての運動会や遠足をみんなと一緒に経験することができました。

小学校では、親が酸素ボンベを持って修学旅行に行くことができました。

中学校では、部活の最後の大会に出ることができました。

病気とはこれからも付き合っていかなければならないけど、私には将来の夢があります。

「保育士」になることです。小さな頃から自分より小さな子の面倒を見るのが好きだからです。そのために苦手な勉強も頑張って資格を取りたいです。子供と関わる仕事に就けるように、夢を叶えられるように努力していきたいと思います。



七五三 自宅の前で

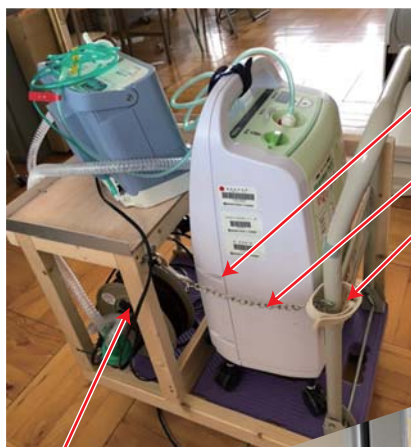
今回紹介する方は、46号のいきいきHOTさんでご協力いただいた伊勢崎市にお住いの森菜奈美様の、学校での医療機器専用台車のご紹介です。

移動教室の際、人工呼吸器と酸素濃縮器をそれぞれ移動していましたが、機器を頻繁に動かすことに抵抗を感じたため学校に相談したところ、公仕（用務技士）さんが工夫して素晴らしい台車を作ってくださいましたそうです。どこに行くのも台車一台でスムーズに移動が出来るようになりお母様もとても感動していました。



これまでは各機器を別々に運ばねばならず大変でした

もっと快適に！



さまざまな工夫

- ①濃縮器出し入れ用の開口部
- ②チェーンで転倒防止
- ③傷防止のカバー

④コードリールを搭載
どこでも電源確保

⑤人工呼吸器の落下
防止にアルミでリブ
を設置

⑥加温加湿器を固定し、
台車に載せたまま使
えます。



HOTの 快適グッズ

IVY（アイビー）

今回ご紹介する IVY（アイビー）は、携帯用ポンペに使う電池式の呼吸同調器（デマンドバルブ）です。

患者様により快適にお使いいただくことを目指して開発され、下のような特徴があります。

○手元操作が可能な小型軽量タイプ

スマートフォンと同程度の大きさで、洋服のポケットやハンドバッグに入れることができるため、取り出して流量変更などの操作が簡単ができます。



スマホとほぼ同じサイズ



写真のようにポンペから
離れた使い方ができます

○高流量（最大 7L/分）で使用可能

○高感度吸気センサー搭載。感度変更もできます
感度設定が高中低の3段階ありますので、これまで呼吸同調器が使用できなかった患者様も是非お試しください。（使用には先生の処方が必要です）

○無呼吸を段階的にお知らせ

バイブレーション⇒ランプ⇒アラームと段階的に無呼吸をお知らせします。



映画館や
慶弔行事など
音を鳴らしたく
ないときに
重宝します

○電池が長持ち

単三電池2本で省電力

○ガス切れ警報つき

酸素が流れなくなると警報でお知らせします。

お試しのご用命などお気軽にご相談ください。

HOTのホント!?

HOTで使われる酸素は、水分が取り除かれた状態で供給されます。そこで水分を補うために設けられているのが加湿瓶です。加湿については日本呼吸器学会の「酸素療法ガイドライン」によると、3L/分以下の場合、加湿は不要とされています。

理由は①酸素が低流量の場合には、お部屋の空気を吸い込む割合の方が大きい
ため、酸素だけ加湿をしても意味合いが薄い、こと。加えて②加湿瓶の着脱ミスに
よる酸素の供給トラブルの可能性や、③加湿瓶の衛生的な管理が必要なことなど、
デメリットが多い点が挙げられています。ただ患者様によって感じ方は異なるので、3L/分未満でも
鼻腔等が渇くようでしたら、上記のご説明をした上でご提供いたしますのでご安心ください。



ここが加湿瓶です。
低流量器には搭載されていなかったり、
カバーがしてある機器もあります。

HOTな社員紹介

たなかまさと
田中雅人
東毛エリア担当

入社して23年目になります。現在は館林、邑楽、足利を担当しています。
2児の父親です。コロナ禍で休日はステイホームをしています。我が家



楽しみながら子育てしています！

では少しでもおうち時間を楽しく快適に過ごすために工夫をしています。コロナ太りもあって、娘達とYouTubeでエクササイズや庭でプール、オセロ、カードゲームにハマっています。たまにお菓子パーティや、たこ焼きパーティもしています。(これがコロナ太りの原因かも…)

コロナ感染終息の見通しがたたずコロナ疲れもあるかと思いますが、皆様と一緒に乗りきっていきたいと思います。



知って得する！クイズコーナー

以下のクイズに○か×でお答えください

1. 酸素吸入を行っている部屋で禁煙が必要なのは酸素吸入中の患者さんだけでよい。
2. 酸素ボンベは使わないときでも、次にすぐ使えるように元栓は開けておく。

クイズのこたえ

1. ×
酸素使用中は室内火気厳禁です。周囲の人も禁煙が必要になります。蚊取り線香など他の火気からも2mは離すよう気をつけてください。
2. ×
使わないときはボンベの元栓は必ず閉めておきましょう。酸素が漏れて減ってしまったり、万一転倒や落下したときに元栓が開いていると大変危険です。

編集後記

●巻頭特集にご協力いただきました川田院長先生に感謝申し上げます。ありがとうございました。今後とも良い関係を築いていけたらと思っております。(いとう)

●患者様紹介にご協力くださいました小暮みのり様、大変感謝申し上げます。保育士というすばらしい夢に向かって頑張ってください。応援しています。(ふじた)

●庭先で草むしりをしていたら、プランターの後ろにアシナガバチの巣があり右手首を刺されてしまいました(泣)前日、左手にワクチンを打ったので、両手が腫れてしまいました。皆様もコロナ&ハチには充分気をつけて下さい。(ますみ)

●この夏は家庭菜園でキュウリとミニトマトが豊作でした。続いて秋野菜にチャレンジしたいと思います。(おいかわ)